

## 平成28年度第1回 高知市口腔保健検討会議事録

高知市保健所 3階中会議室

H28.9.29 18:30~20:30

### 1 開会

司会：健康増進課課長補佐

### 2 高知市保健所長挨拶

### 3 委員紹介

### 4 会長・副会長の選出

会長：高知市歯科医師会 宮川 慎太郎 委員

副会長：高知市立小中特別支援学校長会（高知市立昭和小学校長）伊藤 浩昭 委員

### 5 議事

#### ①高知市口腔保健支援センターの取組みについて

事務局より説明

質問・意見はなし

#### ②今後の方向性について フッ化物洗口の取組みについて

事務局より説明

#### 保育園・幼稚園・学校等でのむし歯予防の取組(フッ化物洗口)について

##### 【宮川会長】

保育園での実施の増加についてはどうか。

##### 【中山委員】

全体的に園では積極的に前向きに考えてもらっている。来年も何園か増えるのではないかな。年々増えていくと思う。国のほうも保幼小中高と一貫教育として連続性を持って取り組んでいくという方向なので、フッ化物洗口についても園から学校へ連続した取組につながっていくのではないかな。

いろいろな園から相談を受けているので、多分来年は半分くらいの園が実施するのではないかなと思っている。

**【宮川会長】**

公立保育園での実施の広がりについてはどうか。

**【保育幼稚園課】**

民間保育所に比べると公立保育所の実施数はまだまだ少ないが、園児の健康にもつながっていくので、進めるよう実施に努めていきたいと思っている。

**【宮川会長】**

小学校での実施についてはどうか。

**【伊藤委員】**

学校での取組は、新聞記事にあるように、数字で見たら進んでいないが、各学校長対象に、校長会の中で説明もあり進んできている。

各学校の保小連携の状況や、児童数の問題など学校の実状が関係していると思うので、それぞれが慎重に検討しているところだと思う。

低学年から始めると効果が上がると思うので、1.2.3年生に取り組んでいくということと、養護教諭の先生にお願いする部分が多いので、養護教諭の理解や協力を得るよう話をしていく必要もあると思う。

新聞記事では「市教委指示待ち」とあるが、そういうわけではなく、それぞれの学校判断になってくると思う。

新しい取組を組み込んでいくのは、難しい部分もあるが、すでに取り組んでいる小学校の話を知ると、慣れるとできるという部分もあると思うので、教育環境支援課とも話をしながら、校長同志でも検討しながら進めていきたいと思っている。

**【宮川会長】**

学校に対する働きかけについてはどうか。

**【教育環境支援課】**

新聞記事に載る前に、記者の方も取材に来ていて、高知市の現状についてお伝えした。記事にも出ていたが、昨年度は、口腔保健検討会でのご意見を受けて、自主の校長会の中で、フッ化物の活用について、伊藤委員に説明してもらった。今年度より、フッ化物洗口支援については、市の事業となったため、校長会で説明をした。

実施に当たって心配されることを校長先生に聞く機会があったが、うがいの時に使うコップについての衛生面について質問がでていたため、それについては、紙コップの支給もできると、校長会で補足の説明もあり、衛生面についての不安は取り除けたと思う。

記事には、一宮小の取組について、経過や工夫についても載せてくれているので、この記事を前向きに捉えていて、いろいろな方に関心や興味をもってもらえるきっかけになればと考えている。校長会の説明の後、各学校には、相談がある場合の連絡先も情報提供をしているが、それだけに留まらず、さらに働きかけを考えていきたいと思っている。

【宮川会長】

保護者の立場ではフッ化物洗口についてはどうか。

【前田委員】

学校での時間がどのように取れるかということもあるが、給食が終わったあと、口の中の汚れを洗い流すと一緒にうがいをすることは効果的か。

【宮川会長】

基本としては、歯ブラシをして、きれいな口腔内でフッ素洗口してもらうことが理想だとは思う。

【前田委員】

子ども達に分かるように説明をしてもらえる機会があればいいと思う。

【宮川会長】

児童への説明等については学園短大や高知市での取組についてはどうか。

【健康増進課】

学校への働きかけとしては、フッ化物洗口を開始することが決まってから、うがいの方法や実施について説明し、取り組んでもらっている。保育園では、フッ化物洗口開始の最低2週間前からはお水を使ってうがいの練習をするようお願いしている。

学園短大が歯みがき指導に入った時には、映像でうがいの方法を見せて口腔機能向上の視点でうがいの啓発をしてくれている。

【竹島委員】

保育園ではこんなに進んでいるのに、小学校では進んでいない。保育園児でも上手にうがいができるので、小学生は上手にできると思う。新聞記事にも出ていたが、一宮小学校では、学年ごとに実施曜日をずらして工夫して取り組んでいる。

学校歯科健診の結果でむし歯が多い学校をピックアップして取り組むなど、工夫して実施していったらいいと思う。

東西南北で拠点的に取り組んでいく方向で、実施地区を選定するなどの取組みも効果的だと思う。

【宮川会長】

各学校いろいろな問題があると思うので、少しずつ前進できるよう工夫しながら取り組んでほしいと思う。

### 小学校・中学校での歯肉炎予防の取組について

【宮川会長】

小・中学校での学園短大の歯肉炎予防の取組で工夫している点について聞かせてほしい。

【大野委員】

学生に指導しているところは、歯と歯ぐきの境目、歯頸部に注目するようにしている。

その部分の汚れが歯肉炎に影響をしているので、子ども達に汚れを確認してもらえよう、各部位に分けて観察することを伝えている。2回目の学校での指導でその成果は出ているのではないかとと思うがどうか。

**【健康増進課】**

学校歯科医の先生が指導しているときに見学をさせてもらうのだが、2回目の指導では、実習の流れにも慣れていて、実習がスムーズに進んでいる。1回目にマンツーマンに近い形で各児童に指導してもらっているので、2回目は1人の先生と児童という形で行っても、スムーズに進むので、1回目の指導が2回目につながっていると思う。

**【大野委員】**

看護学科の学生が、今年度指導した4校にちょうど教育実習で入っていた。実習の中で、歯磨き指導を行っているのだが、その時に、歯科衛生専攻の学生が行った1回目の指導内容を事前に説明し、実習に取り組んでもらったら、児童が、チェックをするところを覚えていて、スムーズに行うことができたとのことで、いい効果になっていることを確認できた。

**【宮川会長】**

学校側からは、感想などどんな声があるか。

**【大野委員】**

担任の先生からは、動機付けに繋がっているという声はいただいている。

**【宮川会長】**

小学校ではどれくらい歯磨きに取り組んでいるか。

**【伊藤委員】**

大きい学校ではなかなか取り組めていないのではないかと。コップの衛生状態等の問題がクリアされていないのでなかなか難しい。以前勤務していた小規模校では歯磨きに取り組んでいた。自分が勤務してきた大規模校では歯磨きに取り組んでいたところはなかった。

学園短大の学生さんに来ていただく指導は自分の学校も何回か経験があるが、子どもへの動機付けにとっても効果があがっており、学級便り等で保護者へもお便りで周知している。

日常的な取組は学校規模の関係で実際難しいところもあるが、イベント的な取組の受け入れはどこもよいと思う。

**【宮川委員】**

学級便り等お便りを見て、家庭で話をする機会などは広がっているか。

**【前田委員】**

実際学校での取組についての把握はしていないが、コップと歯ブラシを持って行って、持って帰ってきているのは知っているのと、歯磨き等何か取組をしているのではないかと考えている。

**【宮川委員】**

歯肉炎予防のための歯磨きも、フッ素洗口についても、どうしても大規模校になるほど難しいといった意見も出ているので、この検討会では、その現状を課題として念頭に置き、考えていけたらと思っている。

**歯周病予防について普及啓発、生活習慣病予防と連携した歯周病予防の取組について**

**【宮川会長】**

昨年度から、生活習慣病予防と連携した取組として、高知市歯科医師会が高知市から委託を受けて「医歯薬連携推進事業」を実施している。今年度の取組について歯科医師会より説明してほしい。

**【田岡委員】**

今年度は、医科、歯科、薬科の先生方に、生活習慣病と歯周病の関連性についてより一層学んでいくために、3科合同の研修会を行うことが決まっている。日時は2月9日で、内容については、今後各科の先生方と一緒に相談していく。医科、歯科、薬科が連携を取りやすくなるような内容にしていく予定。

また歯周病と生活習慣病に関する啓発のリーフレットも作成する予定で、各イベント等で配布していく。

今年度は3年計画の2年目だが、3年目は市民のみなさんへ普及啓発していくために、公開講座等を検討している。

**【宮川会長】**

医歯薬連携については、山村委員（本日欠席）、竹島委員に参加をいただいている。薬剤師会として、この連携事業についての関わりについてお聞きしたい。

**【竹島委員】**

薬剤師は、医科からも歯科からも処方箋が来るという立場で、連携の要になっていけると思う。一般薬も販売しているので、健康相談もできるので、医科、歯科の橋渡しの役割も担って行きたいと思っている。

**【宮川会長】**

昨年度の医歯薬連携事業で作成したポスターを協会けんぽの方で各事業所に配布してもらったが、反応等あったか。

**【上原委員】**

昨年度500部いただき、高知市内の事業所を訪問する時に、保健師、管理栄養士が持っていったが、その貼った後の状況についての確認はできてない。配布したところは、掲示してくれていると思う。

**【宮川委員】**

リーフレットを作成したら、また配布等お願いしたい。  
市民への啓発について何かいいアイデアはないか。

**【大野委員】**

20歳以上への啓発というところで、公開講座等する時に、各大学で講座をするといった方法は、どうか。

**【健康増進課】**

歯周病の啓発として、若い世代に啓発するのは必要な時期なので、短大や大学等で行うのは大事ではないかと考えている。

自分達も学生対象に講義をする時には、歯周病の啓発的な内容を盛り込んでいる。

公開講座等を行うときにも、学生さんにも参加してもらうなどの仕掛け作りは必要だと思う。

**【宮川会長】**

学園短大の先生方、学生さんにもお力を借りながら、今後も取り組んで行きたいと思う。

**【伊藤委員】**

市民の目に広く目に触れるのは「あかるいまち」だと思うが、特集記事を載せたりなどするのはどうか。今までやったことはあるのか。

**【健康増進課】**

紙面の確保は難しいが、11月8日（いい歯の日）にちなんで、特集記事を四分の一ほどの紙面で載せたことはある。ページの確保は難しいが、何か広く啓発していく方法を検討していきたいと考えている。何かいいお知恵があれば教えていただきたい。

**【伊藤委員】**

あかるいまち本体が難しかったら、別紙でもいいのではないか。また、土佐山の時に地域の方のレントゲン検診等があったのでそういう機会に併せて配ったりするのはどうか。

**【健康増進課】**

検診の結果やお知らせと一緒に、歯周病の啓発のちらしは入れさせてもらっている。

**【竹島委員】**

高知市がいきいき健康チャレンジを始めているが、スタートイベントがあり、これから応援講座もあるので、食事の講座の時に併せて、歯周病予防の啓発も行ったらいと思うが、そういった計画はあるのか。

**【健康増進課 成人保健担当】**

いきいき健康チャレンジの中で、スタートイベントの時には歯科医師会、歯科衛生士会にも協力してもらい、ブースを設けた。普段はこういった健康まつり的なイベントは高齢の方が多いが、今回は20代～80代のそれぞれの年代の参加があったこと、50代までの若い方が参加者の半数を占めていたため、こういった場でも啓発するのは効果的だと思った。また応援講座の内容についてはこれから検討をするので、歯科の担当とも相談をして考えて行きたいと思う。

**【健康増進課】**

スタートイベントの歯科のブースについては、歯科医師会のブースで歯周病菌を観察するコーナーがあったが、絶えず人が並んでおり、広く歯周病について啓発できたと感じている。

**【宮川委員】**

事業所での健康学習などで歯周病について絡めて行くことはできるか。健康パスポート事業等にも協力されているが、何か歯周病の啓発を絡めることはできないか。

**【上原委員】**

協会けんぽ加入の事業所で、比較的大きな規模の事業所があり、平成 25 年度から協会けんぽが健康学習を 3 年間全社員対象にやらせてもらっている。今年度の内容をお口の健康でやってみないかと投げかけたところ、事業所のほうがやってみたいとのことで、口腔保健支援センターに協力をお願いし、12 月～1 月にかけて取り組んでいく。内容はこれから検討していくが、健康学習に参加すると健康パスポートのシールを 1 ポイント配布していく。

**【宮川委員】**

またどんな感じだったか教えてほしい。

健診受診者の方や一般の市民の方にどうやって啓発していくか。

特定健診には歯科は入っていないが、いろいろと絡めながら組み込んでいく工夫や、医科歯科薬科が連携しながら正しい知識を持って進めていきたいと思っている。フッ素にしても歯肉炎にしても、歯周病の予防にしても、正しい考え方を持って着実に進めていきたいと思っている。

**【健康増進課成人保健担当】**

健康パスポート、いきいき健康チャレンジについて説明  
配布

**【宮川委員】**

パスポートを既に発行している人はいるのか。

**【健康増進課成人保健担当】**

先日のいきいき健康チャレンジのスタートイベントで各コーナーを回ってもらおうと発行できたため 256 くらいは発行している。

県でも 1000 以上は発行している。いきいき健康チャレンジも 400 くらい申し込みがあるが、またこちらの方も参加をお願いしたい。

**【宮川委員】**

こういったイベントを通じて、歯科のほうも協力して普及していければと思う。

**【竹島委員】**

今年度の取組みとして、障害者等歯科保健推進事業はないのか。  
施設にいる方の訪問歯科はできるのか聞きたい。

**【健康増進課】**

今回説明させてもらった平成 28 年度の取組は、みなさんにご意見いただきたい事業について抜粋して説明をさせてもらった。障害の事業は平成 27 年度と同様に実施しており、施設や事業所から健康教育の依頼があった場合は、歯科衛生士が施設に出向いて行っている。

**【宮川会長】**

訪問歯科については、各医院の先生が施設等に出向いて行って行っている。また、県の歯科医師会に在宅歯科の窓口があるのでそこに連絡もらって派遣することも行っている。お困りの場合は連絡をお願いしたい。

高知市の障害者等歯科保健推進事業の中の、歯科医療技術者養成事業についても歯科医師会委託で取り組んでいるが、高知市歯科医師会独自としても小さいところから少しずつ進めていこうと検討しているので、ご意見等いただけるとありがたい。

閉 会

事務局より連絡事項

次回の検討会は、年度末の 2 月に実施予定。